

こうた文化財ウォーキングマップ

深溝東部

墳墓の地と平坂街道コース

8
難易度
中級

●コース全長:約5km●所要時間:約2時間30分(最寄り三ヶ根駅)



▲本光寺山門
歩数は約7,000歩

【コース概要】幸田町の深溝(ふこうず)地区は、古くからの交通の要所でもあり、町内でも最も見どころの多い地域です。本光寺、日向山古墳、東光寺遺跡からなる歴史あるスポットをめぐりながら歴史の重なりを感じることができます。

幸田町教育委員会



ここにある一つ一つが、幸田町の歴史の語り部

幸田町郷土資料館

- 開館時間 10:00~17:00
- 入館料 無料
- 休館日 月・木曜日(祝日の場合は翌日が閉館) 12月28日~1月4日
- 所在地 幸田町大字深溝字清水36-1
- TEL 0564-62-6682

こうた文化財ウォーキングマップは全10コース

地域No.	コース名	距離(km)	所要時間	地区	難易度
北部 1	前方後円墳と城館跡コース	2.5	1時間	坂崎・長嶺地区	初級
北部 2	山寺めぐりコース	5	2時間	大草・久保田地区	中級
北部 3	菱池東部と深溝街道コース	6	2時間20分	高力・萱田・岩郷地区	上級
中部 4	幸田駅前から地元発見コース	5	2時間20分	芦谷・荻地区	中級
中部 5	六栗の浜道コース	4.5	2時間	六栗地区	中級
中部 6	野場の浜道コース	7	2時間30分	野場地区	上級
南部 7	資料館から歴史入門コース	3	1時間20分	深溝北部	初級
南部 8	墳墓の地と平坂街道コース	5	2時間30分	深溝東部	中級
南部 9	断層と三ヶ根山麓コース	7	2時間50分	深溝西部~逆川	上級
須美地区 10	伝説の墳墓発見コース	1.5	1時間	須美地区	初級

ウォーキングのご注意と心得

- 距離、所要時間は目安であり、休憩時間や施設の見学等は含まれておりません。
- コース、各施設には段差、階段、未舗装の箇所がありますのでご了承ください。
- 自分のゴミは、自分の責任でお持ち帰りください。

- 監修:幸田町文化財保護委員会
- 編集・発行:幸田町教育委員会
- 原案提供:元文化財保護委員 近藤 守
- 発行年月:平成26年3月

【お問い合わせ】
幸田町教育委員会 生涯学習課
〒444-0192
愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1-1
TEL:0564-62-1111

こうたちょうきょうとうしりょうかん 幸田町郷土資料館 地図表記:3-4-A

第1展示室では昔の台所や民具を、第2展示室では農機具・養蚕具・考古資料・深溝断層削ぎ取り標本などを常設展示しています。またひなまつりや端午の節句など季節に合わせた展示も行っています。文化財整理室も併設されており、幸田町内で行われた文化財調査や遺跡の調査の整理作業を行っています。

●所在地:深溝字清水36-1



館内展示 屋外展示

ほんこうじ 本光寺 地図表記:4-A-B

本光寺は、享禄元年(1528)に深溝松平家初代当主松平忠定によって深溝松平家の菩提寺として建立されました。当初は深溝地内の向野に築かれていましたが、一度関東へ移った後、深溝松平家5代当主松平忠利が深溝西郡藩主として深溝を治めて以降に現在の地に移りました。

●所在地:深溝字内山3-27



しまばらはんしゅふうずまつだいらげぼしよ 島原藩主深溝松平家墓所 国指定史跡 地図表記:4-A-B

深溝松平家は徳川將軍家を支えた18松平家の一つです。その歴代当主の埋葬地は瑞雲山本光寺境内に築かれています。東西の廟所に分かれ、西廟所には初代松平忠定~4代家忠までの供養塔と5代忠利の肖像堂、11代忠恕の墓が、東廟所には6代忠房から19代忠諒までの墓が築かれています。東廟所内には神社の社殿に似た石造りの墓石が形状を同じくして整然と配置されています。平成26年(2014)には国史跡に指定されました。



●所在地:深溝字内山地区

すきのおじんじや 素盞鳴神社 地図表記:4-C

創建は古く養老2年(718)に建立されたと伝わっています。素盞鳴神社は東光寺にあった東光寺城と相対する位置にあり、城主により武運長久の祈願所として、代々崇められたといわれています。祭礼の一つの10月の秋祭りには、深溝地区の山脇に住む若者により山車の上で太鼓と笛の音を鳴らす「ちゃらぼこ太鼓」の芸が奉納されます。

●所在地:深溝字権行寺6



ひむかいやまこふん 日向山古墳 町指定史跡 地図表記:7-E

深溝字日向山の山頂に築かれた直径13mの円墳です。昭和59年(1984)に発掘調査が行われ石室内からは馬具や碧玉製管玉などの副葬品が発見されています。これらの副葬品の年代から6世紀後半(およそ1,450年前)の古墳と考えられます。また2段に造られた古墳の1段目には石積みを巡らす構造である「外護列石」があり、埋葬施設に「竪穴系横口式石室」があることから、この地方でも特異な形態の古墳であることが分かっています。この石室の形態が九州地方の北部で多く見られることから、被葬者と何らかの関係を持っていたと考えられ、日向山古墳はこの地方の有力者の墓であると考えられます。

●所在地:深溝字日向山



へいさかいどう 平坂街道 地図表記:6-E

平坂街道は東海道から分岐する脇道の一つで東海道の小坂井(豊川市小坂井町)から今の蒲郡市と幸田町を経て西尾の平坂湊(西尾市平坂町)までを結んでいました。現在でもその一部が町内の主要道として機能しています。



とうこうじいせき 東光寺遺跡 地図表記:4-D

大字深溝字上天白・天白・城跡にかけて所在する縄文時代から近世の遺跡です。昭和60年(1985)から数度の発掘調査が行なわれ、縄文時代では土器を利用し棺とした土器棺墓が、弥生時代以降では住居跡が見つかり、中世にいたるまでの集落が確認されています。また城跡・櫓下などの地名からこの付近に城跡が存在した可能性も考えられます。

●所在地:深溝字上天白他



みかわじしん 三河地震の断層 地図表記:3-D

三河地震は昭和20年(1945)1月13日午前3時30分ごろ、蒲郡市西浦町の沖合いを震央とするM6.8(マグニチュード、当時の記録ではM7.1)の地震です。この地震によって、地割れが発生し、深溝の地震断層が出来ました。断層の総延長は28kmで形原町(現在の蒲郡市)と幸田町深溝を経て、西尾市志竜谷に達しています。断層の西側を中心に被害が大きく、多くの死者や家屋倒壊などの被害を受けました。拾石川にかかる新天白橋の西側には落差1m程度の堰堤があり、この段差は断層の地割れによるものといわれています。

●所在地:深溝字上天白地内



ちよっと寄り道

ほんしゅう 梵鐘 町指定文化財

本光寺の境内には、寛永6年(1629)松平忠利が吉田城主の時、將軍家光の勅命助成により、造らせたと伝わる梵鐘があります。戦時下の供出も逃れ現存しています。

